

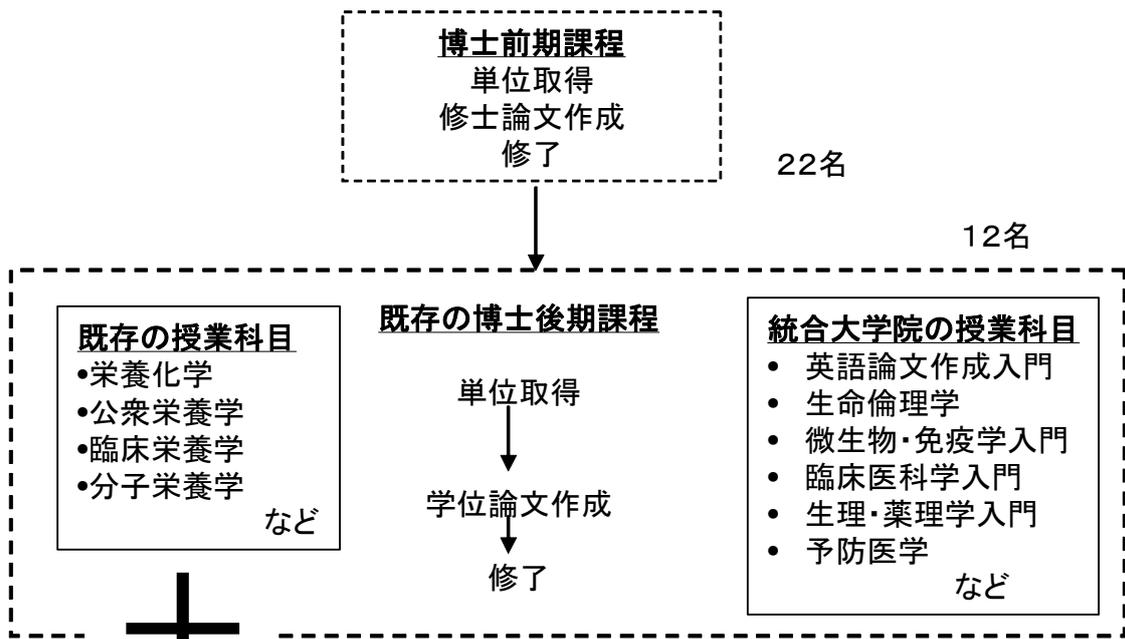
## 平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	徳島大学	整理番号	c012
1. 申請分野(系)	医療系		
2. 教育プログラムの名称	食品機能研究を先導する人間栄養学教育拠点		
3. 関連研究分野(分科)  (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) その他医療系分野を主とする複合分野		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (栄養科学 健康科学 食品科学 応用健康科学 食生活学)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([ ]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名)	<u>研究科長(取組代表者)の氏名</u>	
	栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻[博士前期課程]	中屋 豊	
	栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻[博士後期課程]		
(その他関連する研究科・専攻名)			
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能性食品開発はわが国の科学技術政策の重要な推進対象項目であり、産業としての将来性が高い分野である。徳島大学においても、中期目標に<b>食品臨床試験の促進</b>を掲げて最重点項目とし、大学院(栄養生命科学教育部)と大学病院臨床試験管理センターに学長裁量経費から大幅な予算を支出し、学内プロジェクトを推進している。</li> <li>・ <b>ヒトでの食品機能評価を行う栄養学</b>の専門家は少なく、その人材の育成が急務である。徳島大学栄養学科は医学部にある全国唯一の栄養学科であり、人間栄養学の教育、研究の指導者を養成するために設立された学科である。そのユニークさを生かし、この大学院が世界をリードする人間栄養学研究の中心となるよう、大学をあげて研究、教育環境を整えるための支援を行っている。</li> <li>・ 徳島大学では医療系教員の統合により、幅広い<b>医療分野の指導的栄養学研究者の養成</b>をめざしている。各分野にまたがる共通教育、共同研究の推進などを行っている。</li> </ul>			

機 関 名	徳島大学	整理番号	c012
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2004年4月の部局化に伴う医学・薬学・歯学・栄養学研究科で<b>統合大学院ヘルスバイオサイエンス研究部</b>とし、栄養生命科学教育部人間栄養学専攻が発足した。授業カリキュラム履修制度を大幅に変更し、専攻指定科目とともに幅広い医療教育を修得させるために他教育部との共通科目を導入した。さらに連携大学院制度により(独)食品総合研究所から客員教員を招聘して食品プロセスの基礎と応用に関する大学院教育を開始した。</li> <li>・毎年<b>多くの食品の機能評価に関する研究</b>を行っており、企業との共同研究も多い。</li> <li>・<b>国際的に活躍できる研究者の育成</b>をめざし、大学院での英語による講義、英語による論文作成、外国人研究者による講演などを授業に取り込んできた。</li> </ul>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>わが国では健康志向が強く、健康増進効果がある機能性食品が注目されている。しかしながら、人間栄養学を基盤とした食品機能研究を行う専門家は少ない。この取り組みにおいては、機能性食品開発やその機能性・安全性評価をめざす研究者を育成することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>基礎・臨床医学と融合した、人における食品機能の栄養学研究者の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい授業科目：ニュートリゲノミクス、メタボロミクス、バイオマーカーなど</li> <li>・医療栄養学の指導的研究者の育成</li> </ul> </li> <li>2. <b>国際的に活躍できる人材育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の研究者の招聘、学生、教員の海外への派遣</li> <li>・英語教育の充実：英語による授業、国際学会での発表</li> </ul> </li> <li>3. <b>機能性食品開発企業との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究・受託研究(14年度15件2,270万円、15年度11件1,820万円、16年度10件2,970万円)</li> <li>・企業研究者の招聘、学生のインターンシップ</li> </ul> </li> <li>4. <b>学内関連研究施設との有機的連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食と健康増進センター、栄養サポートチーム、臨床試験管理センターとの連携</li> </ul> </li> </ol> <p>これらのプロジェクトを通じて、①ヒトにおける食品機能評価を行う栄養学の創成、②食品臨床試験の促進、③医療分野の栄養学的指導的な研究者の育成を行う。</p>			

6. 履修プロセスの概念図



- 新しい授業科目**
- ニュートリゲノミクス
  - メタボロミクス
  - バイオマーカー

- 食品機能開発の戦略と安全・安心の確保
- 食品機能の科学的基盤

学生主導の研究

研究計画作成段階からの参加

臨床試験管理センター

食品の臨床治験

選択コース

学生:6名

**食品機能研究に特化したコース**

指導教員:6名

英語による講義

学生・教員の派遣

海外の研究所

研究者の招聘

機能性食品開発企業

共同研究

研究者の招聘  
学生のインターンシップ

1. 医療栄養学の指導的研究者の養成
2. ヒトの食品機能評価を行う栄養学の創成
3. 食品臨床研究の促進

機 関 名	徳島大学	整理番号	c012
<p data-bbox="165 199 588 230">&lt; 審査結果の概要及び採択理由 &gt;</p> <p data-bbox="165 295 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 490 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 535 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 660">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 806">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は大学院教育の実質化のための各項目の方策が、優れており、期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。</p> <p data-bbox="189 822 1206 853">なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 918 633 949">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="165 965 1428 1189" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="165 965 1428 1093">・「医学」と「栄養」の基盤がある大学の利点を活かし、企業等のニーズに対応した教育プログラムとなっており、専攻の目的である「医療分野における指導的栄養学研究者の養成」に即した体系的な教育課程が編成されており、今後の展開が期待できる。</li> <li data-bbox="165 1108 1428 1189">・なお、教育プログラムの運営に当たり、FD（教育内容・方法等の組織的な研究・研修）の実施体制等の充実が必要である。</li> </ul>			